



良知あつゆき の文教・警察委員会 (9月定例会) での質疑

良知あつゆきは、文教・警察委員会の9月定例会において、以下の内容について質疑を行いました。一部について答弁の内容をお知らせいたします。

- ① 新本部長の取組と意気込みについて
- ② 特殊勤務手当について
- ③ 警察官の体力強化について
- ④ 警察官の健康管理について
- ⑤ 交通事故死者数について
- ⑥ 環状交差点について
- ⑦ 子どもの連れ去りについて
- ⑧ 子どもの虐待死について
- ⑨ 自動車保管場所証明事務について
- ⑩ 古物商・金属くず商申請における行政書士の代理権について



答弁の内容「子どもの連れ去りについて」

静岡県における子どもの連れ去り事案の発生状況について質問しました。13歳未満の児童の連れ去り被害の認知は、平成25年中は2件で本年は発生していないとのこと。昨年の連れ去り事案は2件とも離婚した夫婦による親権トラブルで、1件目は1歳の幼児、2件目は4歳と2歳の幼児を離婚した父親が連れ去った未成年者略取事件で、2件とも午後7時ころに発生しています。

事件の前兆として捉えられる行為の種類及び警察での把握状況についての質問については、事件の前兆、予兆事案として捉えられる行為には、声かけ、つきまとい、連れ去りの他に、わいせつ行為、写真撮影、脅迫、暴行、凝視等があるとのこと。

警察で認知している予兆事案で18歳以下の子どもに関するものは、平成25年中は1,249件で、本年8月末現在で916件に及んでいます。予兆事案で一番多いのが「わいせつ行為」、次は「声かけ」「つきまとい」となっているとのこと。

事件防止のための警察の取組みについても質問しました。現在、制服警察官による通学路の警戒や学校への立ち寄り等の強化、防犯ボランティア団体との連携による子どもを見守る活動の推進や安心マップの作成、配布、スクールサポーターの活用、「防犯教室」や「防犯訓練」が開催されています。また、県警ホームページを活用した「子ども安全情報」やエスピー君安心メール等を活用した情報発信も実施しています。

最近の事件として危機感を感じた兵庫県の事件を受けて取った措置についても質問しました。今回の事件を受けて、同種事件の未然防止、模倣犯の発生を懸念して、県下27警察署に対して、学校や自治体、自治会等関係団体と連携をとった通学路等の安全対策等の警戒強化を指示しているとのこと。

子育てしやすい社会にとって、「子どもの安全確保」は大変重要な要因であると思います。また、警察だけでなく、学校、自治体等との連携が必要な問題であるため、今後も注視していきたいと考えています。

地域への現状報告と課題調査・意見交換を継続しています



良知あつゆきは、国土交通省、県湾岸局、焼津漁港管理事務所、島田土木事務所、志太榛原農林事務所、県危機管理局、焼津市危機管理部、焼津市道路課及び河川課担当者等の同席による、地震、津波対策をはじめとした意見交換会を各地区で継続して開催しています。地域ごとの具体的な質問が出され、各担当部署からの説明を直接聞くことが出来る機会を作っています。

ふるさとにっこり通信

平成 26 年 12 月号

静岡県議会議員 | 県政を身近にもっと良く知ろう

良知あつゆき県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり



静岡県のお財布の中身はどんな状態なの？

静岡県のお財布事情については新聞等でも発表されていますが、1年間の予算が1兆1,802億円ほどあります。市の税収は市民税や固定資産税が主なものですが、静岡県は特徴として法人二税があげられます。

その法人二税って何ですか？

はい、法人県民税と法人事業税といわれるものですが、企業の業績によって税収が左右されるものです。要するに景気が良ければ、税収が増えるということですね。

その他、個人県民税が税収の大きなものです。法人税で1,089億円、個人県民税は1,464億円ほどです。その他、県では不動産取得税があり、これが105億円ぐらい。あとは県たばこ税が44億、自動車税が551億円、そういえば消費税が上がりましたね。地方消費税は589億円見込んでいます。これらすべてをあわせて県税が、今年度は総額4,320億円の税収を見込んでいます。

でも、使う予算は1兆円を超えていましたよね。収入が4,320億円じゃ足りないんじゃないですか？

収入としては国からもらえるお金、例えば地方交付税や地方譲与税国庫補助金っていうのがあります。

国からくるお金があるんですね。それに、借金も予算の収入になるんですよね。ところでいったい県はどのくらいの借金があるんですか？

県債の発行のことですね。確かに借金は気になりますね。今年度は県債が672億円ほどです。だけど…

だけど… 何か心配なことでも？

はい。平成13年度からですが、臨時財政対策債っていうのがあります。

これも借金なんですか？

そうなんです。借金なんです。私たちはこれを臨財債と呼んでいますが、要するに国にお金がなくて地方交付税を満額出せないから足りない分は将来その借金は国が担保するから県で借金しなさいっていうものなんです。

なんだか無責任な借金ですね。国が担保するなら大丈夫なんですよ。

いえいえ、国の借金は我々国民の借金ということです。国はこれ以上国で借金出来ないから、地方が肩代わりしているだけで結局は借金ですからね…この臨財債が県債残高として9,578億円。それから、建設債などの通常の県債の残高が1兆7,388億円あります。病院の借金とあわせて静岡県は合計2兆7,303億円の借金があることになります。ちなみに通常の県債は少しずつ減ってきていますが、臨財債は実に14年間増え続けているんです。判りにくい点ですが、県の悩みの種となっています。

借金の金額を聞くとお先真っ暗な気持ちになります。どうやって借金を返していく予定なんですか？

私も市議時代から取り組んでいることですが、行財政改革と歳出の抑制ですね。時代に合わない補助金や制度の見直しは重要です。それから、歳入を増やす方法を検討することだと考えます。

それはつまりどういうことなんですか？

県独自でお金の入りを増やすことです。私は特に税収を増やすことについても勉強しています。

それって、税金を新たに取るということですか？県民は許さないんじゃないですか。

確かに、でも皆さんが理解してくればぜひやる必要はあると思います。たとえば、現在でも独自の歳入があるんですよ。

独自の歳入ってどのようなものなんですか？

ひとつは「もりづくり県民税」です。県民税の超過課税として法人県民税と個人県民税で徴収しています。個人の場合、県民一人年間400円払っているんですよ。全体で9億7000万ほどの税収となっています。もう一つ法定外税です。県では核燃料税といって新しい核燃料棒を挿入するときに税金をかけています。価額割という方式で近年は、年間10~20億円の収入を中部電力から頂いていました。でも、今、原発は動いていないので税収はありません。この税は5年間で更新しているので、今回は価額割と、出力割を併用しての課税を検討する必要があると考えています。

出力割だと原発が動いていなくても税金がとれるんですか？

はい。出力割だと原発の発電能力によって課税するので、動いていなくても取れるようです。

なるほど、なんか中電さんには申し訳ないけど…でも税金は大切に使ってほしいですね。

その通りです。それが一番大切なことですね。その点についても十分チェックしていきたいと思っています。あわせて、独自の税収としては、先程お話した超過課税と法定外税の2種類が主となっていますので、これからも独自の税収について勉強を重ねていきたいと思っています。

そうですね。みんなが理解してくれる方法ならいいですね。

(注)数字は全て平成26年度当初予算時のものです。

